

第13期

運用報告書(全体版)

ニッポン成長株オープン (愛称 一等星)

【2021年8月5日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」は、2021年8月5日に第13期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式
信託期間	2015年2月6日から2025年2月5日までです。
運用方針	日本の成長が期待される企業の株式へ投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 成長企業の選別にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を重視します。なお、新興市場の株式に積極的に投資することがあります。 銘柄の選定にあたっては、ボトムアップ・アプローチを基本とし、バリュエーション、業績の変化、イノベーション等に着目します。
主要投資対象	日本の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式を主要投資対象とします。
投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年2月5日および8月5日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		東証株価指数 (TOPIX) (参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
		税引前 分配金	騰落率	参考指数	騰落率			
9期(2019年8月5日)	円 9,655	円 0	% △ 0.1	ポイント 1,505.88	% △ 4.9	% 94.0	% △11.8	百万円 3,798
10期(2020年2月5日)	10,437	100	9.1	1,701.83	13.0	93.2	△ 8.5	2,748
11期(2020年8月5日)	9,729	0	△ 6.8	1,554.71	△ 8.6	96.5	△ 2.1	2,200
12期(2021年2月5日)	11,201	400	19.2	1,890.95	21.6	95.5	—	1,993
13期(2021年8月5日)	10,726	200	△ 2.5	1,928.98	2.0	93.3	—	1,673

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) 東証株価指数（TOPIX）は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

(注) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

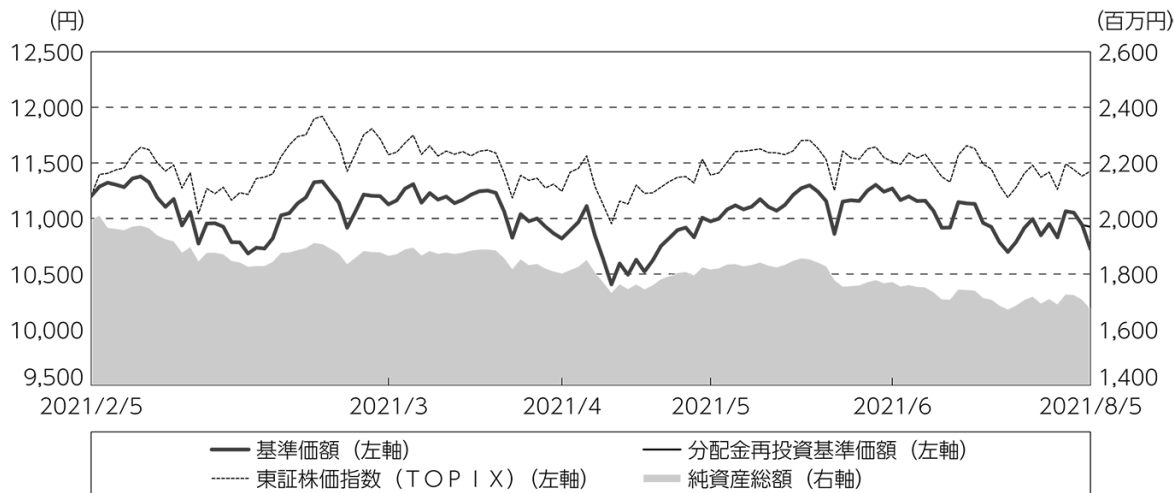
年月日	基準価額	標準価額		東証株価指数 (TOPIX) (参考指数)		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	騰落率	参考指数	騰落率		
(期首) 2021年2月5日	円 11,201	% —	ポイント 1,890.95	% —	% 95.5	% —	
2月末	10,774	△3.8	1,864.49	△1.4	97.0	—	
3月末	11,127	△0.7	1,954.00	3.3	96.1	—	
4月末	10,820	△3.4	1,898.24	0.4	97.6	—	
5月末	10,974	△2.0	1,922.98	1.7	98.0	—	
6月末	11,270	0.6	1,943.57	2.8	94.4	—	
7月末	10,830	△3.3	1,901.08	0.5	93.3	—	
(期末) 2021年8月5日	10,926	△2.5	1,928.98	2.0	93.3	—	

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2021年2月6日～2021年8月5日）



期 首：11,201円

期 末：10,726円 (既払分配金(税引前)：200円)

騰落率：△ 2.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、東証株価指数(TOPIX)です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2021年2月5日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・業種配分では、化学、卸売業、機械などが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、三菱ケミカルホールディングス、ビューティガレージ、日本電子などが基準価額にプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・業種配分では、医薬品、情報・通信業、サービス業などが基準価額にマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、第一三共、ペプチドリーム、モダリスなどが基準価額にマイナスに影響しました。

投資環境

（2021年2月6日～2021年8月5日）

国内株式市場は、一進一退の方向感に乏しい展開が続きました。先進国を中心に新型コロナウイルスのワクチン接種が進展し、死亡率や重症化率が低下したことで経済活動の正常化による景気や企業業績への回復期待が高まる局面があった一方、感染力の強いデルタ株と呼ばれる変異株による感染者数の増加懸念や、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げのタイミングが早まるとの見方が広がったことなどが上値を抑える要因となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2021年2月6日～2021年8月5日）

当ファンドの運用につきましては、企業の中長期的な利益成長性、成長の持続性、株価水準に着目して銘柄選別を行いました。

具体的には、ヘルスケアや半導体などの高成長が期待される市場において、高い市場シェアを有するオリンパス、メニコン、太陽ホールディングスなどを新規に買い付けた一方、株価が上昇したことで中長期的な成長力や足元の業績に対して株価が割高になったと判断したファーストリテイリング、ローム、太陽誘電などの売却を行いました。

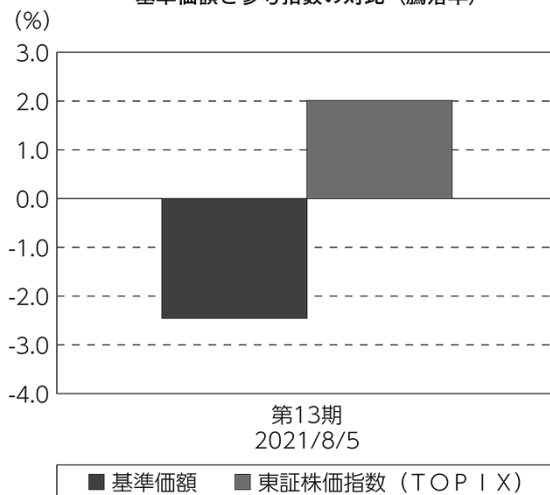
株式組入比率につきましては、足元の国内株式市場は日銀による積極的な金融緩和が需給を下支えしており、大規模な株価調整が起こりにくいと考えていることから、90%台の高位を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2021年2月6日～2021年8月5日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した基準価額の騰落率は、参考指数としている東証株価指数（TOPIX）の騰落率を4.5%下回りました。詳細につきましては前掲の「基準価額の主な変動要因」をご参照ください。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、東証株価指数（TOPIX）です。

分配金

（2021年2月6日～2021年8月5日）

毎年2月5日および8月5日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象収益とします。分配金額は、分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当期の分配につきましては、1万口当たり200円（税引前）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第13期
	2021年2月6日～ 2021年8月5日
当期分配金	200
（対基準価額比率）	1.830%
当期の収益	—
当期の収益以外	200
翌期繰越分配対象額	1,741

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

国内株式市場は、徐々に上昇局面に移行する展開になると予想します。足元では世界的に感染力が強い新型コロナウイルスの変異株の感染拡大により上値の重い展開が続く一方で、新型コロナウイルスのワクチン接種自体は順調に進展しており、接種率が高まることで今後は経済活動の正常化や企業業績回復への期待が再燃し、国内株式市場は再び上昇局面に移行すると予想しています。

当ファンドの運用につきましては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を重視し、バリュエーション、業績の変化、イノベーション等に注目して銘柄の選定を行います。

今後の運用につきましては、独自のビジネスモデルや優れた技術力により高い成長が中長期的に継続すると判断した銘柄を中心としたポートフォリオを維持しつつ、経済活動の正常化への期待が高まる局面では旅行関連株や外食株などの業績回復が期待される銘柄の組入れを検討したいと考えています。

※文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2021年2月6日～2021年8月5日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	92	0.840	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(45)	(0.409)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(45)	(0.409)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	15	0.136	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(15)	(0.136)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	1	0.006	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	108	0.982	
期中の平均基準価額は、10,965円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

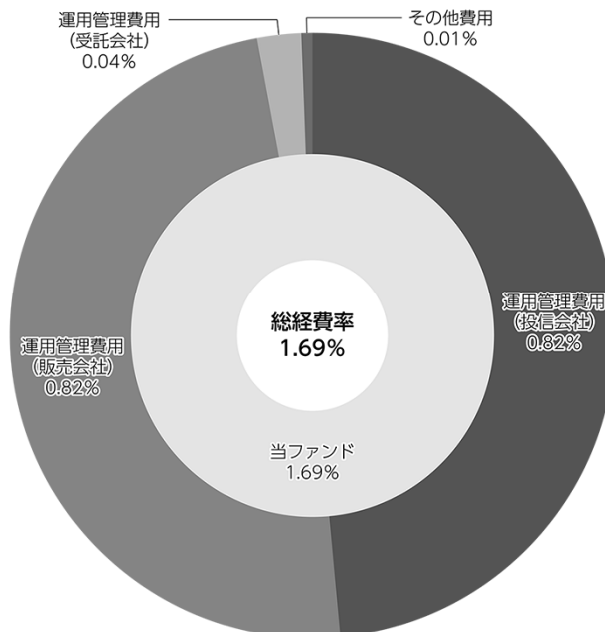
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.69%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2021年2月6日～2021年8月5日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 272	千円 657,175	千株 251	千円 954,701

（注）金額は受渡代金。

（注）単位未満は切捨て。

○株式売買比率

（2021年2月6日～2021年8月5日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,611,876千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,728,391千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.93

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

（2021年2月6日～2021年8月5日）

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
株式	百万円 657	百万円 60	9.1	百万円 954	百万円 131	13.7

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	2,450千円
うち利害関係人への支払額 (B)	316千円
(B) / (A)	12.9%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2021年8月5日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
建設業 (1.4%)			
田中建設工業	1.6	—	—
協和エクシオ	10	—	—
新日本空調	10	10	22,240
食料品 (1.7%)			
S Foods	—	8	26,800
キリンホールディングス	23	—	—
パルプ・紙 (—%)			
ニッポン高度紙工業	8	—	—
化学 (16.8%)			
三菱瓦斯化学	20	15	34,605
三菱ケミカルホールディングス	90	78	71,619
住友ベークライト	18	16	75,040
扶桑化学工業	8.8	6.8	29,580
太陽ホールディングス	—	5	27,700
ミルボン	—	4	24,080
医薬品 (8.2%)			
JCRファーマ	—	9	26,217
第一三共	21	30	60,030
ペプチドリーム	10.1	7.1	29,394
モダリス	9.3	9.3	12,117
金属製品 (6.5%)			
トーカロ	—	15	20,925
ジェイテックコーポレーション	12.5	12.5	46,500
横河ブリッジホールディングス	18	16	34,272
機械 (13.1%)			
ソディック	—	25	26,150
NITTOKU	9	7	27,545
ブリュー	26	35	50,295
SMC	1	0.6	40,488
日精エー・エス・ビー機械	5	—	—
TOWA	—	12	31,272
栗田工業	7	—	—
CKD	15	12	28,284
電気機器 (8.4%)			
ヤーマン	11.2	11.2	13,596
ワコム	—	40	30,400
アンリツ	11.8	7.8	14,734
日本航空電子工業	—	15	25,635
堀場製作所	8	6	46,980

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
日本電子	6	—	—
ローム	4	—	—
太陽誘電	5.5	—	—
輸送用機器 (1.5%)			
川崎重工業	17	10	23,530
精密機器 (7.6%)			
インターアクション	19.5	16	40,496
オリンパス	—	20	46,000
朝日インテック	12	—	—
メニコン	—	4	32,200
陸運業 (4.7%)			
富士急行	—	6	27,960
日本通運	9	5.5	45,980
情報・通信業 (7.3%)			
デジタルアーツ	3.5	3.5	27,160
ユーザベース	6.5	—	—
ユーザーローカル	6	—	—
ヤブリ	2.1	—	—
野村総合研究所	12	12	44,760
スマレジ	5	—	—
Sansan	2.5	—	—
Chatwork	16	—	—
マクアケ	2.3	—	—
オリコン	—	20	17,820
学研ホールディングス	21	19	23,959
ミロク情報サービス	12	—	—
卸売業 (6.1%)			
ビューティガレージ	10	—	—
岩谷産業	5	5	32,000
ミスミグループ本社	15	15	62,400
小売業 (2.2%)			
良品計画	—	16	34,576
コーナン商事	10	—	—
ファーストリテイリング	0.9	—	—
証券、商品先物取引業 (1.8%)			
SBIホールディングス	14.3	10.3	27,964
サービス業 (12.7%)			
アイティメディア	10	17	32,980
手間いらず	6	6	31,800
オリエンタルランド	—	3	44,850

ニッポン成長株オープン（愛称 一等星）

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
ジャパンエレベーターサービスホールディングス	14	14	35,490
共立メンテナンス	—	8	28,720

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
東京都競馬	7.1	5.9	23,629
合 計	株 数 ・ 金 額	608	629
	銘柄数 < 比率 >	51	46 < 93.3% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年8月5日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	1,560,775	90.7
コール・ローン等、その他	160,440	9.3
投資信託財産総額	1,721,215	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年8月5日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,721,215,932
コール・ローン等	158,880,432
株式(評価額)	1,560,775,500
未収配当金	1,560,000
(B) 負債	47,728,756
未払収益分配金	31,204,092
未払解約金	1,094,100
未払信託報酬	15,330,127
未払利息	169
その他未払費用	100,268
(C) 純資産総額(A－B)	1,673,487,176
元本	1,560,204,601
次期繰越損益金	113,282,575
(D) 受益権総口数	1,560,204,601口
1万円当たり基準価額(C/D)	10,726円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,0726円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は1,779,422,015円、期中追加設定元本額は42,256,070円、期中一部解約元本額は261,473,484円です。

○損益の状況（2021年2月6日～2021年8月5日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	13,905,162
受取配当金	13,902,181
受取利息	23
その他収益金	11,719
支払利息	△ 8,761
(B) 有価証券売買損益	△ 40,994,859
売買益	157,716,179
売買損	△198,711,038
(C) 信託報酬等	△ 15,432,270
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 42,521,967
(E) 前期繰越損益金	125,947,595
(F) 追加信託差損益金	61,061,039
(配当等相当額)	(105,956,702)
(売買損益相当額)	(△ 44,895,663)
(G) 計(D+E+F)	144,486,667
(H) 収益分配金	△ 31,204,092
次期繰越損益金(G+H)	113,282,575
追加信託差損益金	61,061,039
(配当等相当額)	(105,956,702)
(売買損益相当額)	(△ 44,895,663)
分配準備積立金	165,732,828
繰越損益金	△113,511,292

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第13期
(a) 配当等収益(費用控除後)	0円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	105,956,702円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	196,936,920円
分配対象収益(a+b+c+d)	302,893,622円
分配対象収益(1万円当たり)	1,941円
分配金額	31,204,092円
分配金額(1万円当たり)	200円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税引前）	200円
支払開始日	2021年8月12日（木）までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

〈お知らせ〉

該当事項はございません。